

## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月31日

上場会社名 株式会社 ODKソリューションズ

上場取引所 東

コード番号 3839 URL https://www.odk.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝根 秀和

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 作本 宜之 TEL 06-6202-0413

四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

## (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	3,195	3.4	△308	-	△277	-	△213	-
2023年3月期第3四半期	3,091	4.9	△439	-	△411	-	△305	-

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 △124百万円 (-%) 2023年3月期第3四半期 △321百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△26.34	-
2023年3月期第3四半期	△37.32	-

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	7,660	5,591	73.0	690.52
2023年3月期	8,537	5,797	67.9	715.95

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 5,591百万円 2023年3月期 5,797百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	5.00	-	5.00	10.00
2024年3月期	-	5.00	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	11.4	340	△19.2	360	△19.9	240	1.4	29.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	8,200,000株	2023年3月期	8,200,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	102,712株	2023年3月期	102,712株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	8,097,288株	2023年3月期3Q	8,181,122株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動が正常化する中で、サービス消費が持ち直したことや、インバウンド需要が増加したこと等から、景気は回復基調を維持しました。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、中東情勢、世界的な金融引締めにもなる影響や中国経済の先行き懸念等、依然として不透明な状況が続いております。

情報サービス産業におきましては、人手不足を背景に業務の効率化を図ることに加え、新しいIT技術を用いた既存システムの再構築や機能追加等の需要を受け、IT活用の流れは堅調に推移しております。〔経済産業省特定サービス産業動態統計(2023年11月分確報)より〕

こうした環境下、当社グループでは、中期経営計画(2024年3月期～2026年3月期)の基本方針に「ODKグループ拡大」を掲げ、「新事業ポートフォリオの推進」「グループシナジーの創出」「M&A・アライアンスの推進」を本年度の重点課題として様々な施策に取り組んでおります。

当社単体としては、中期経営計画の基本方針に「専門性の強化による新たな価値の創造」を掲げ、「個別収益管理の深化」「コンサル機能の発揮」「研究開発の推進」を本年度の重点課題として取り組んでおります。

グループ及び当社単体の重点課題に対する具体的取組みとしては、体験実績をNFT(※1)活用により証明する次世代型ソリューション『アブデミー®』を基幹に、多様なサービス開発をすすめております。その一例として、大学生向けに体験実績NFTと生成AI(※2)を用いて、フォトリアルな3Dアバターからキャリアアドバイスを受けられるサービスの開発に向けた実証実験を、株式会社電通グループ、TOPPANホールディングス株式会社、ソニー株式会社等と共同で、近畿大学にて開始しております。

また、当社の連結子会社である株式会社ポトスは、「キャリアポート(※3)」のコンテンツ拡充を目的に、CCCMKホールディングス株式会社と協業し、若年層の声をもとに企業のブランディングやマーケティングをサポートする「マーケティング支援パッケージ」の提供を開始しております。

その他、『UCARO®』をデータプラットフォームとして各事業領域をつなぐハブに育成するとともに、外部接点強化やサービス拡張等により保有するデータ量・種類の拡大を目指しております。今後も同サービスを軸とした成長戦略により、データビジネスによる新たな価値の創造を継続してまいります。

業績面では、証券業務『WITH-X®(ウィズクロス)(※4)』や『KIZUNA-X®(キズナクロス)(※5)』の売上の増加、臨床検査システムの開発及び子会社における保守支援案件の増加等により売上高は3,195,074千円(前年同四半期比3.4%増)となりました。退職給付費用及び開発・運用体制の適正化による外注費の減少等により営業損失は308,971千円(前年同四半期は営業損失439,048千円)となりました。経常損失は277,063千円(同 経常損失411,925千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は213,258千円(同 親会社株主に帰属する四半期純損失305,334千円)となりました。

当社グループの事業は、大学入試業務をはじめとした利益が第4四半期連結会計期間にかけて増加する傾向にあるため、第3四半期連結累計期間の売上高は相対的に少なくなる傾向にあります。しかし、人件費等の固定費は四半期ごとに変動する性質ではないため、結果として、第3四半期連結累計期間の利益が、他の四半期に比べ極めて低い水準にとどまり、例年第3四半期まで損益はマイナスであります。通期では当該マイナスは解消されております。

(※1) NFT :

Non-Fungible Token の略語。ブロックチェーン上でその唯一性が保証されているトークンであり、暗号的にその保有や来歴を証明することが可能です。

(※2) 生成AI :

サンプルデータからアウトプットを自動的に生成する機械学習の手法。従来のAIと異なり、ゼロからコンテンツを生成する学習能力を備えています。

(※3) キャリアポート :

大学1、2年生からのキャリア形成を応援し、その応援を企業価値に転換するキャリア体験プラットフォームです。

(※4) WITH-X® :

証券会社におけるフロント業務からバックオフィス業務の機能を備え、柔軟なカスタマイズが可能な証券総合システムです。

(※5) KIZUNA-X® :

金融商品仲介業者(IFA)向けの投資信託Web取次システムです。

売上高の内訳は次のとおりであります。

<システム運用>

既存顧客との取引深耕による証券業務『WITH-X®』や『KIZUNA-X®』の売上増加、前第2四半期連結会計期間に譲受した人材育成サポート事業の売上等により、2,957,236千円(前年同四半期比1.0%増)となりました。

<システム開発及び保守>

臨床検査システムの開発及び子会社における保守支援案件の増加等により、183,600千円(同64.8%増)となりました。

<機械販売>

医療システム用タブレット製品の販売等により、54,236千円(同4.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて877,127千円減の7,660,756千円となりました。これは主に売上債権の減少によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて671,233千円減の2,069,416千円となりました。これは主に長期借入金の返済による減少であります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて205,894千円減の5,591,340千円となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、概ね当初予想どおりの推移であり、通期連結業績予想につきましては、2023年4月28日に公表いたしました連結業績予想と変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,811,258	2,341,818
売掛金及び契約資産	2,253,528	1,582,265
商品	24,750	—
仕掛品	23,258	37,076
その他	117,900	176,640
貸倒引当金	△2,178	△1,495
流動資産合計	5,228,516	4,136,305
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	92,950	83,179
工具、器具及び備品（純額）	95,923	85,373
リース資産（純額）	149,106	106,076
有形固定資産合計	337,981	274,629
無形固定資産		
のれん	83,962	76,825
顧客関連資産	93,425	85,850
ソフトウェア	1,105,993	1,098,761
ソフトウェア仮勘定	177,441	322,915
その他	7,454	10,316
無形固定資産合計	1,468,277	1,594,668
投資その他の資産		
投資有価証券	978,678	1,099,697
繰延税金資産	231,146	268,710
差入保証金	172,363	171,257
その他	120,919	115,487
投資その他の資産合計	1,503,108	1,655,152
固定資産合計	3,309,367	3,524,450
資産合計	8,537,884	7,660,756

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	234,917	155,587
短期借入金	316,349	315,016
リース債務	60,917	59,567
未払金	120,156	63,249
未払費用	96,325	120,692
未払法人税等	147,132	7,378
賞与引当金	127,830	77,997
その他	329,975	211,576
流動負債合計	1,433,604	1,011,065
固定負債		
長期借入金	777,525	541,763
リース債務	100,426	55,677
退職給付に係る負債	429,093	460,910
固定負債合計	1,307,045	1,058,351
負債合計	2,740,649	2,069,416
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	637,200	637,200
資本剰余金	695,020	695,020
利益剰余金	4,403,654	4,109,423
自己株式	△60,789	△60,789
株主資本合計	5,675,085	5,380,854
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	122,149	210,485
その他の包括利益累計額合計	122,149	210,485
非支配株主持分	—	—
純資産合計	5,797,234	5,591,340
負債純資産合計	8,537,884	7,660,756

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	3,091,258	3,195,074
売上原価	2,607,386	2,539,645
売上総利益	483,871	655,429
販売費及び一般管理費	922,920	964,401
営業損失(△)	△439,048	△308,971
営業外収益		
受取利息	488	56
受取配当金	24,941	32,168
受取手数料	795	759
保険解約返戻金	5,164	4,726
その他	3,843	3,108
営業外収益合計	35,233	40,819
営業外費用		
支払利息	4,943	3,885
投資事業組合運用損	2,872	4,507
その他	294	518
営業外費用合計	8,110	8,911
経常損失(△)	△411,925	△277,063
特別損失		
固定資産除却損	3,146	542
特別損失合計	3,146	542
税金等調整前四半期純損失(△)	△415,072	△277,606
法人税、住民税及び事業税	29,178	12,129
法人税等調整額	△132,797	△76,476
法人税等合計	△103,618	△64,347
四半期純損失(△)	△311,453	△213,258
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,119	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△305,334	△213,258



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純損失(△)	△311,453	△213,258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,286	88,336
その他の包括利益合計	△10,286	88,336
四半期包括利益	△321,740	△124,921
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△315,620	△124,921
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,119	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。